



認知症家族教室



平成29年1月21日 第37回認知症家族教室を開催しました。

今回は、先ず井上先生より（認知症サポート医）、軽度認知障害（MCI）について「MCIは、専門家であっても診断が難しく、状態が改善する方もおられる一方で、5年後には約半数の方が認知症と診断されている。」と、早期の受診と継続した様子観察の必要性を伝えさせて頂きました。

次に、相談課の福島（精神保健福祉士）から介護・医療保険サービスや、精神保健福祉手帳、施設サービス、相談窓口や認知症家族の会などの紹介をさせていただきました。経済的支援につながる高額医療・介護合算療養費制度については、実際の数字や計算の方法を体験していただきました。

洪先生からも、「制度やお金の話は難しいですが、一度ご自分が該当するのかどうか、担当の相談員にご相談ください。」と再度みなさんにお声かけをしました。

ご参加して頂いたご家族からは「支払った医療費が還付される可能性があることを初めて聞いた。」「特養と老健、グループホームの違いがわかった」という感想が聞かれました。

講義後は別に時間を設けて、担当の精神科作業療法士や、精神保健福祉士が、それぞれの個別の相談に対応させていただきました。